


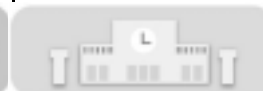








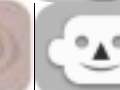






プログラム名	ミラクルはっぱで遊ぼう						
対象年齢	年長 (5~6歳)						
ねらい	メッセージ	・動いていない植物も生きているということに気づこう					
	発見・体感できること	・葉っぱの形、感触、大きさ、色、種類等の違い ・葉っぱで遊ぶ楽しさ					
参加者のめやす	幼児	2~20人	/	支援者	1人		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ			
10分	あらかじめ用意した2種類の葉と同じ葉をさがす			「葉っぱの違いを見つける」という活動につなげていくことを意識して、あらかじめはっきりと違いがわかる葉を2種類用意します。			
5分	葉の違いを見つける			2種類のうちの一枚は、日にかざすと葉脈が透けて見えたり、向こう側が透けて見えるような葉を選びます。 葉っぱを比べてみることで多様な植物が存在することを意識させます。 (例) 透けるものと透けないもの 丸いものととがったもの ザラザラとつるつる 緑色と茶色 大きいものと小さいもの			
5分	見つけた葉の親の木をさがす			葉の種類を増やして「親の木さがし」をするだけの遊びもできます。			



時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
-----	-----	---------------

10分	すかし遊び（葉を透かして見えるものを当てる）をする （例）指の本数 石や枝などの自然物	
-----	---	--

【葉っぱを使った遊びのアレンジ】



「葉っぱのカルタ取り」の遊び方

同種類の葉っぱを2枚ずつ、できるだけ多種類集める

の葉のうち1枚を中が見えない袋や箱に入れ、残りの葉は床に並べる

カルタ取りの要領で、袋から1枚ずつ取り出した葉と同じ葉をさがして取っていく

【異年齢への対応】

年少・年中：葉っぱで遊び道具を作ってみましょう。

例)お面，首飾り

【園や家庭へ帰ってから】

木の赤ちゃんを探し出して、プランターや家の庭で育ててみましょう。興味を持った葉っぱや木を大切に育てることで、植物を大切に作る気持ちのめばえにつながります。

遊んだ葉っぱや木が、例えば「3ヶ月後や半年後にどのように変化していくだろうか？」ということについて、みんなで話し合ってみましょう。

園庭や近所にある植物にも着目してみましょう。

準備物・
教材等

